

- 本資料は、当社の経営方針等に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料で使用するデータおよび表現等の欠落・誤謬等につきましてはその責を負いかねますのでご了承ください。
- 本資料に記載された意見や予測等は資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

2020年3月期 決算説明会資料

取締役社長
新芝 宏之

2020年5月14日

岡三証券グループ 

目次

1

2020年3月期の概況

2

中期経営計画

3

今期の経営のポイント

1

2020年3月期の概況

2

中期経営計画

3

今期の経営のポイント

経済・市場・ビジネス環境

- ✓ グローバル化等の「旧秩序」が逆回転、
コロナ禍が「新秩序」への移行を加速
- ✓ リーマンショック後の金融緩和が継続
- ✓ 2018年後半のGAFA一時急落後は停滞、
当期3Q以降復調、コロナ禍で3月以降一変

2020年3月期 決算のポイント

- ✓ 営業収益は減収
- ✓ 販管費の減少により、営業利益は増益
- ✓ 営業外収益、特別利益の寄与で最終利益は大幅増益
- ✓ ROEは低下トレンド = 構造的な変化

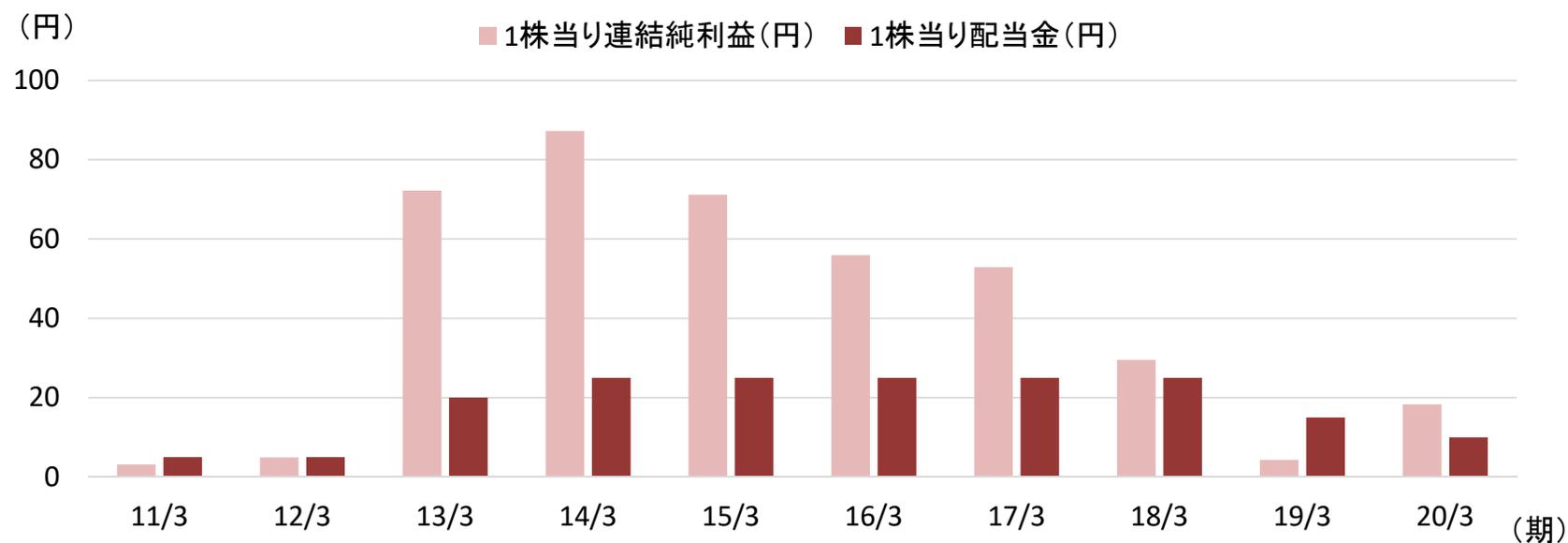
決算ハイライト

(単位:百万円)

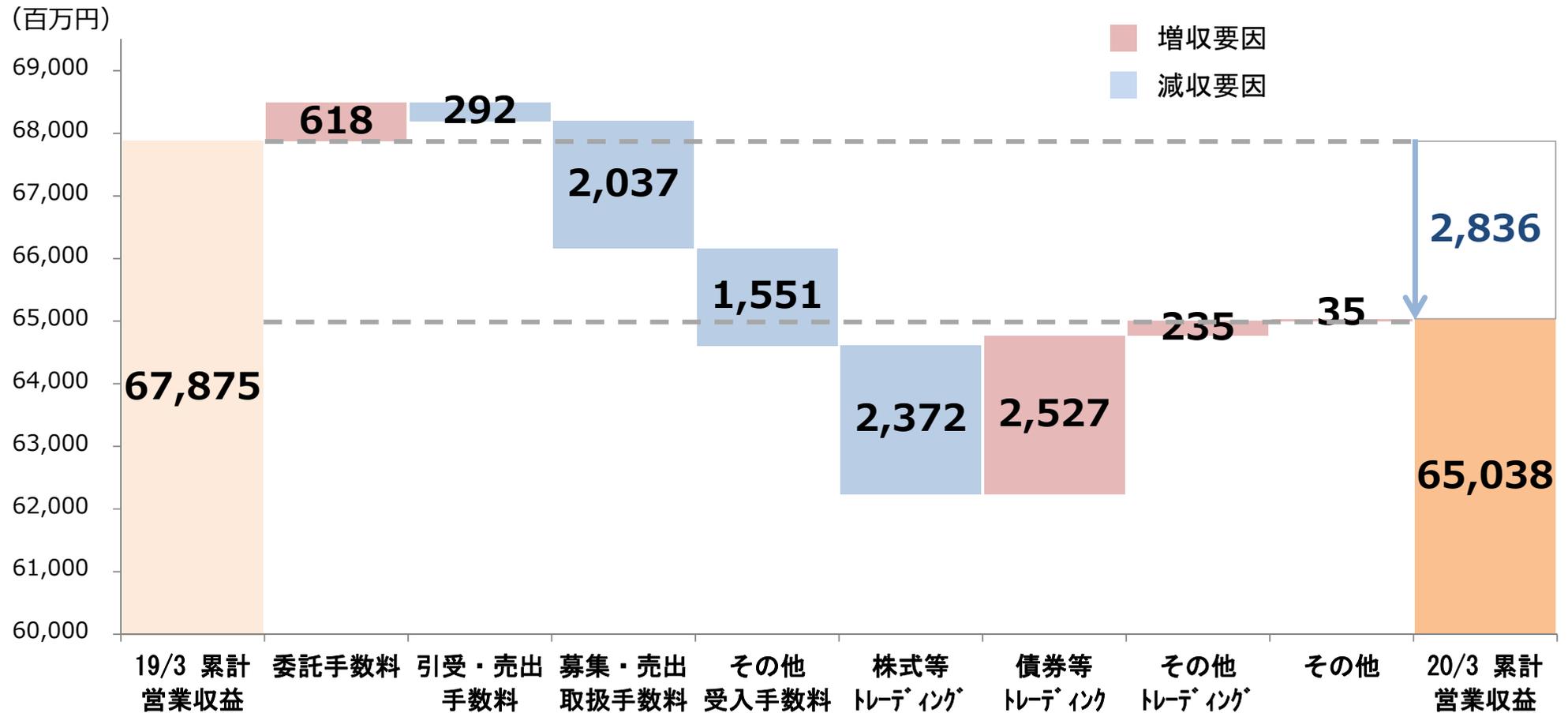
	2019/3期	2020/3期	増減率
営業収益	67,875	65,038	▲4.2%
純営業収益	66,804	64,052	▲4.1%
販売費・一般管理費	64,963	61,979	▲4.6%
営業利益	1,840	2,072	12.7%
経常利益	2,901	5,488	89.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	853	3,626	325.1%

配当政策

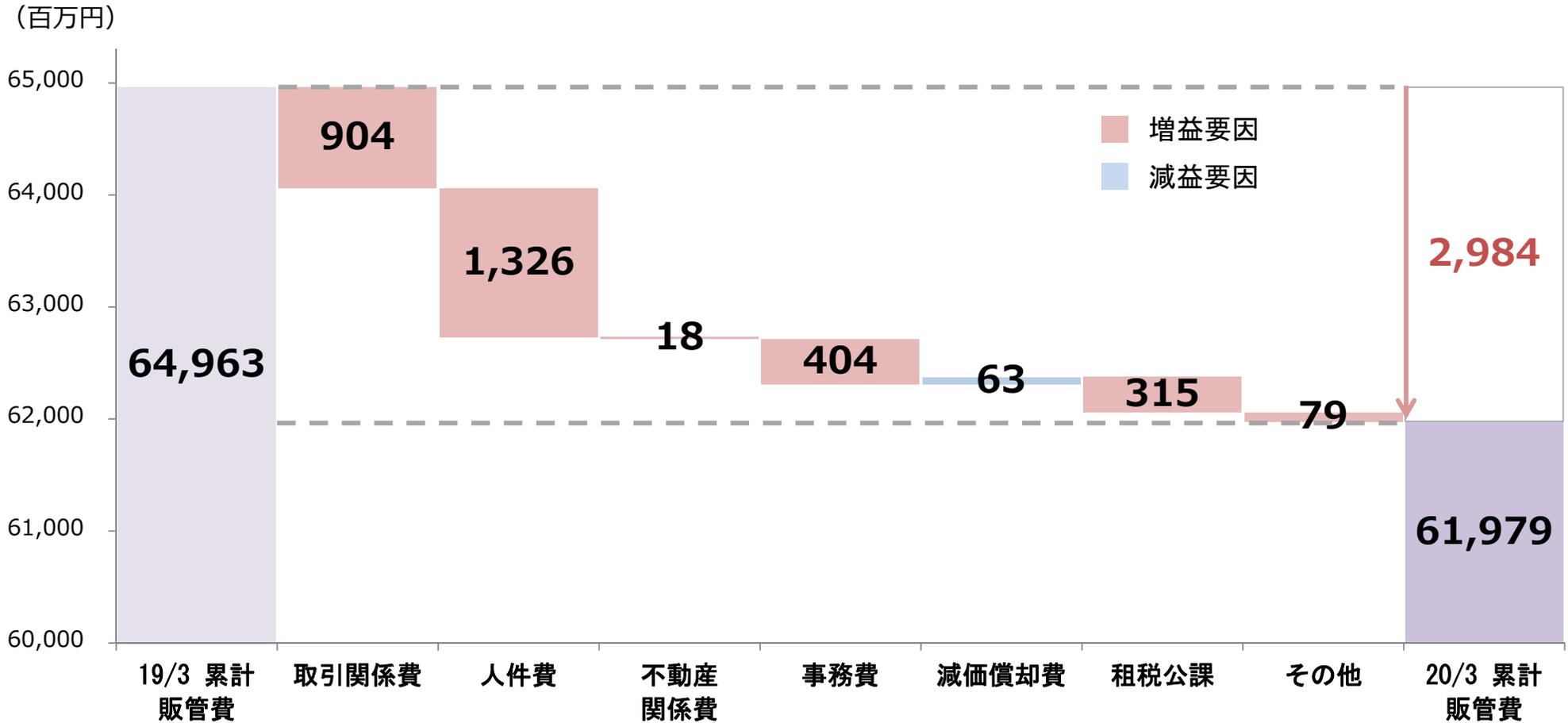
- ✓ 経営体質の強化及び今後の事業展開に備え、内部留保の充実に努めるとともに、安定的な配当の維持・継続を勘案しつつ、業績の進展に応じた配分を実施。



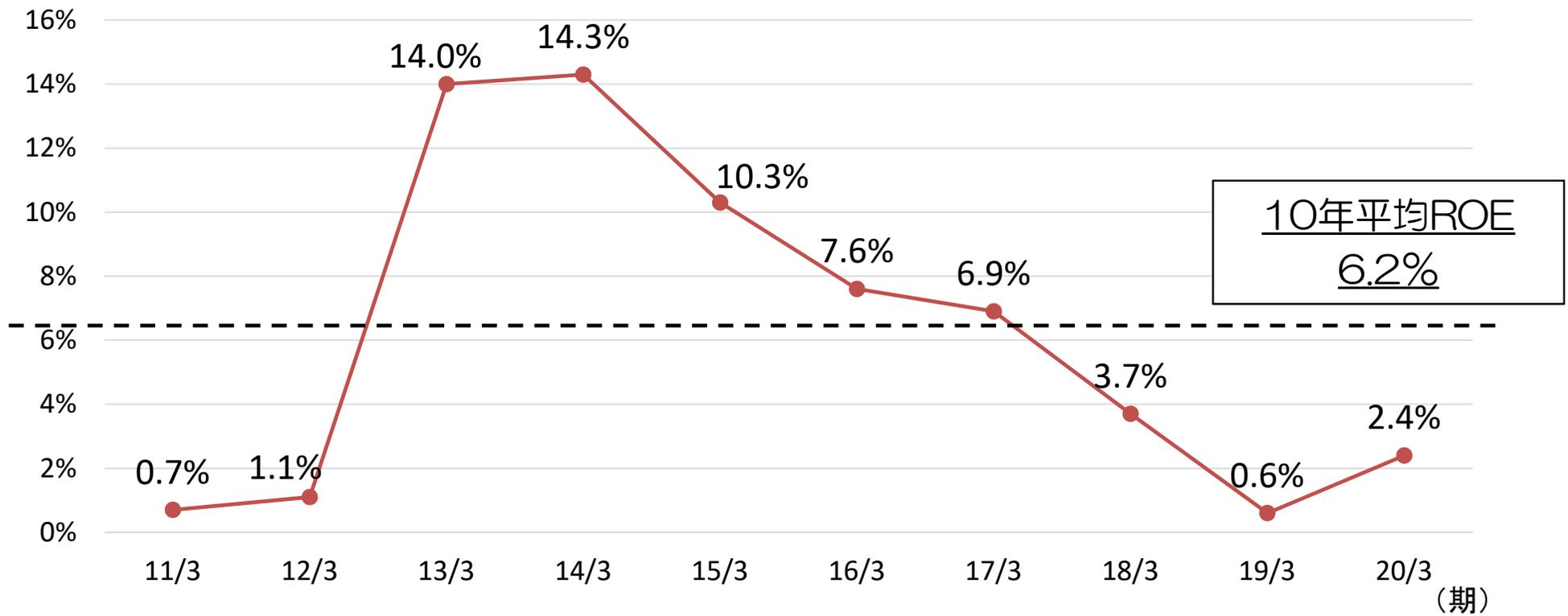
営業収益の変動要因（前期比）



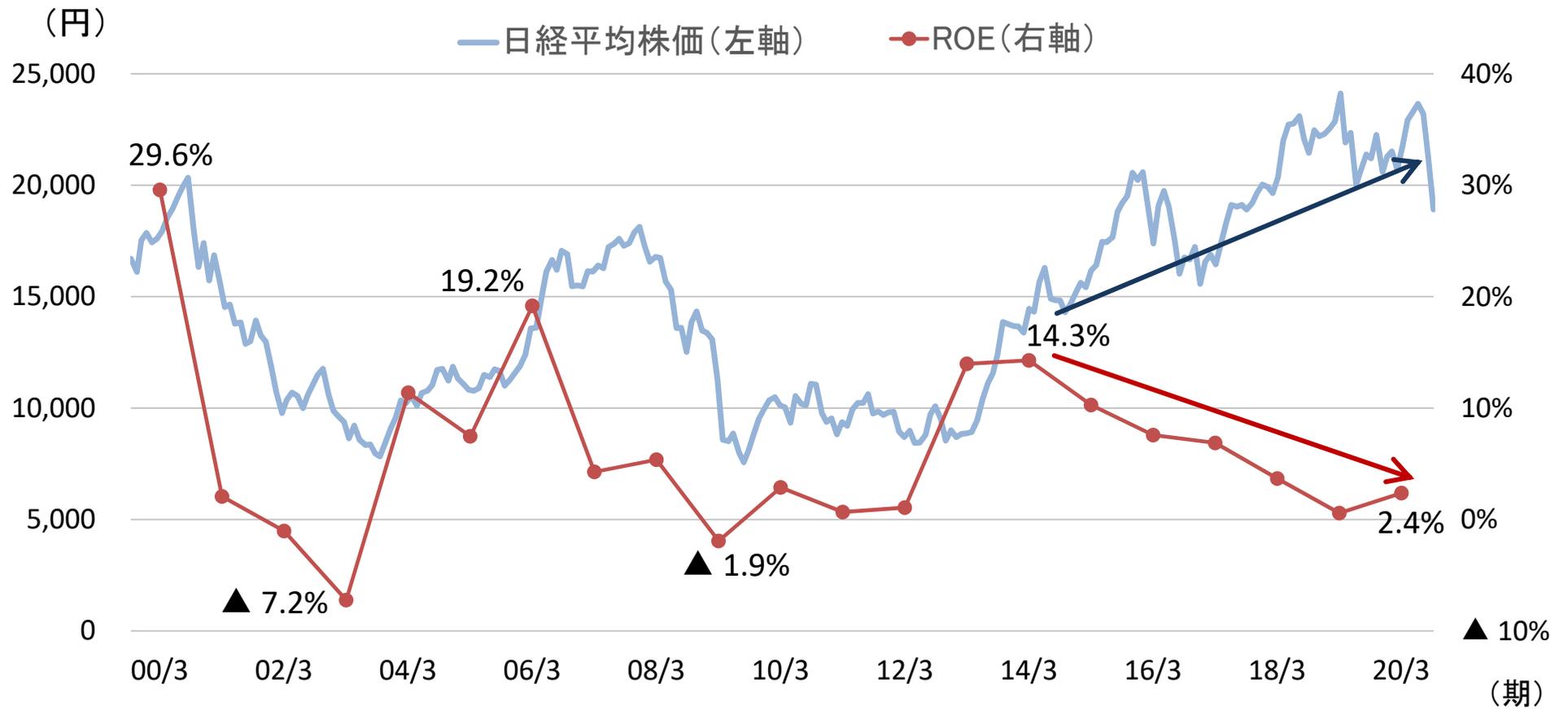
販売費・一般管理費の変動要因（前期比）



直近10年間のROE推移



日経平均株価とROEの推移



課題

- ✓ ビジネスモデルの大胆な転換が必要
- ✓ コロナ対策
 - =DX、働き方改革、生産性向上
 - =危機を改革のバネに

1

2020年3月期の概況

2

中期経営計画

3

今期の経営のポイント

前中期経営計画

定性目標

グループ強化6施策

- (1) お客さま大事の経営
- (2) グループ内連携
- (3) グループ外連携
- (4) ブランド戦略
- (5) 人材、働きがい
- (6) FinTech対応

定量目標

ROE 10%

会社成長とともに、長期安定的な目標としてROE10%を達成します

創業100周年に向けて

創業100周年までの早期にグループ全体で「100万口座」、預り資産「10兆円」の達成を目指します

前中期経営計画

＜主なトピックス＞

- ✓ リソース共有化に向けた共用コンタクトセンター設置
- ✓ 岡三キャピタルパートナーズの設立
- ✓ 岡三AM、証券ジャパンの持分比率引き上げ
- ✓ 同業2社からの事業譲受による事業基盤拡充
- ✓ 年功序列を廃した新人事制度導入
- ✓ フィンテック企業や大学との協業・新機能構築 等

中期戦略、長期戦略

フォアキャストリング

：同業等から新たなお客さまの獲得



バックキャストリング

：拡大する証券ビジネスへの対応

長期的には拡大ポテンシャル

「新たな投資家」×「新たな資金」の流入

- ✓ 米国シニア層の世帯当たりリスク資産額は日本の約7倍
- ✓ 資産形成を後押しする制度整備の進展
- ✓ 老後2,000万円不足問題による個人の意識変化

「縮小均衡」 vs. 「拡大成長」

新中期経営計画

本年4月より新たな中期経営計画を始動
「創業100周年」へ

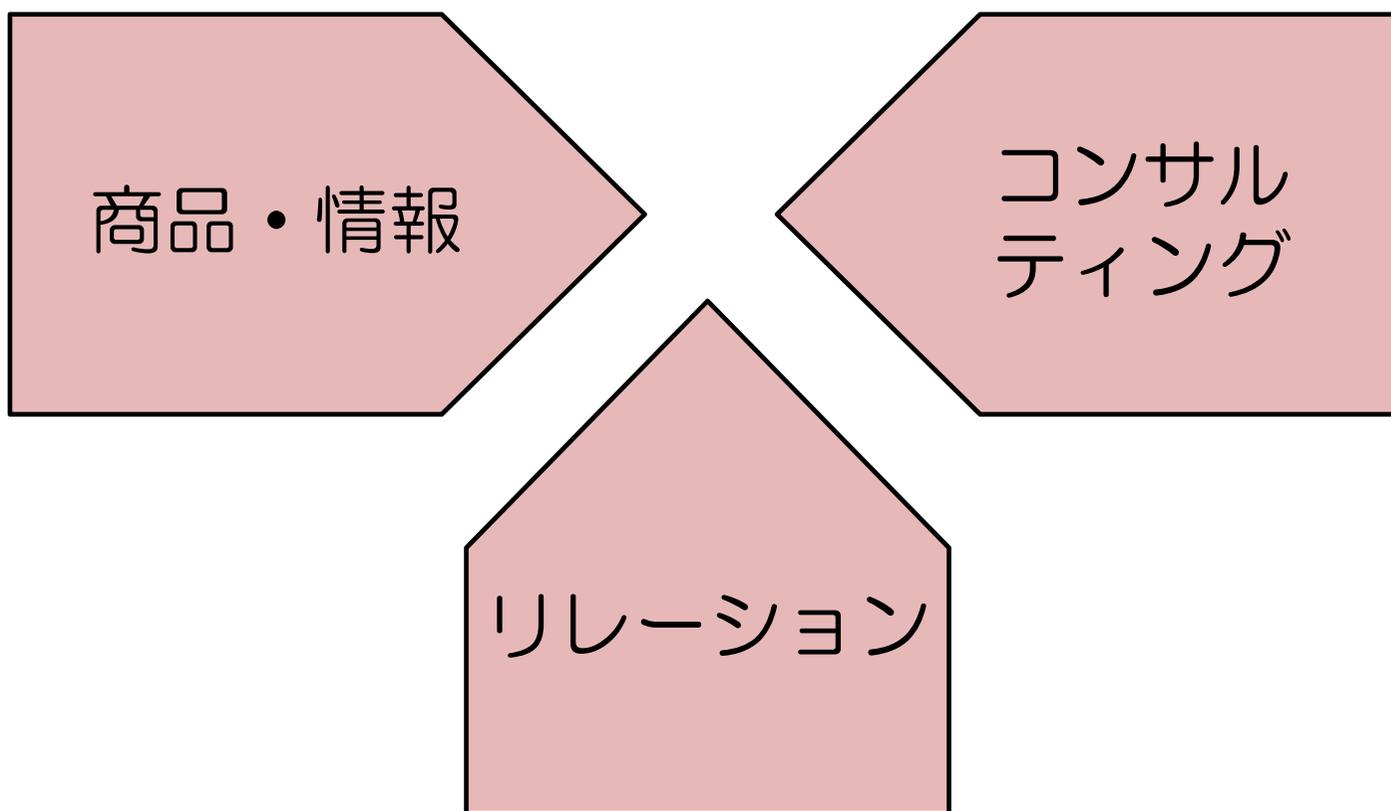
経営環境のパラダイムシフト

- ✓ 「手数料ゼロ」
- ✓ 「Withコロナ」

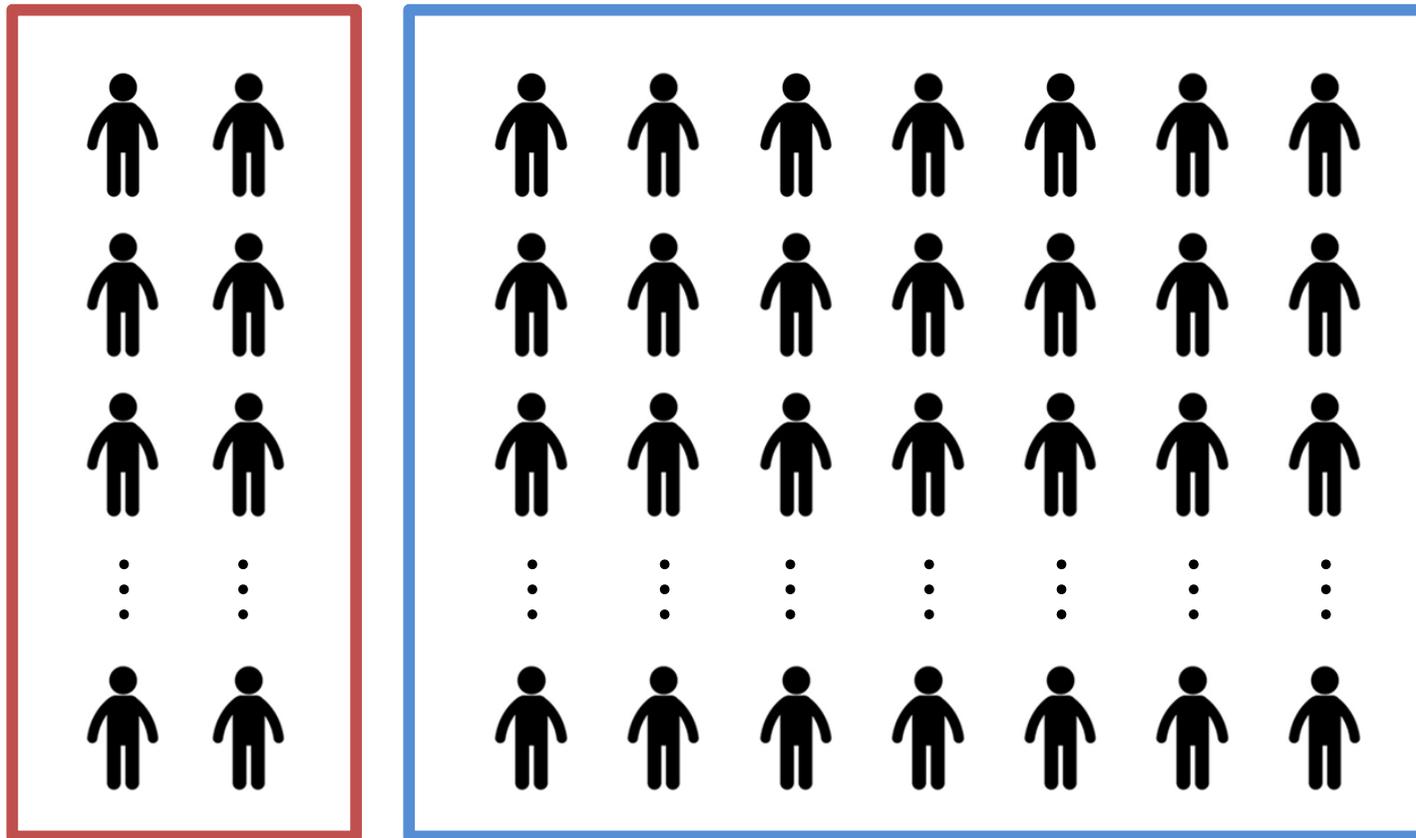
新たな時代に求められるビジネスモデル

「手数料競争」から
「付加価値競争」へ

「付加価値」とは

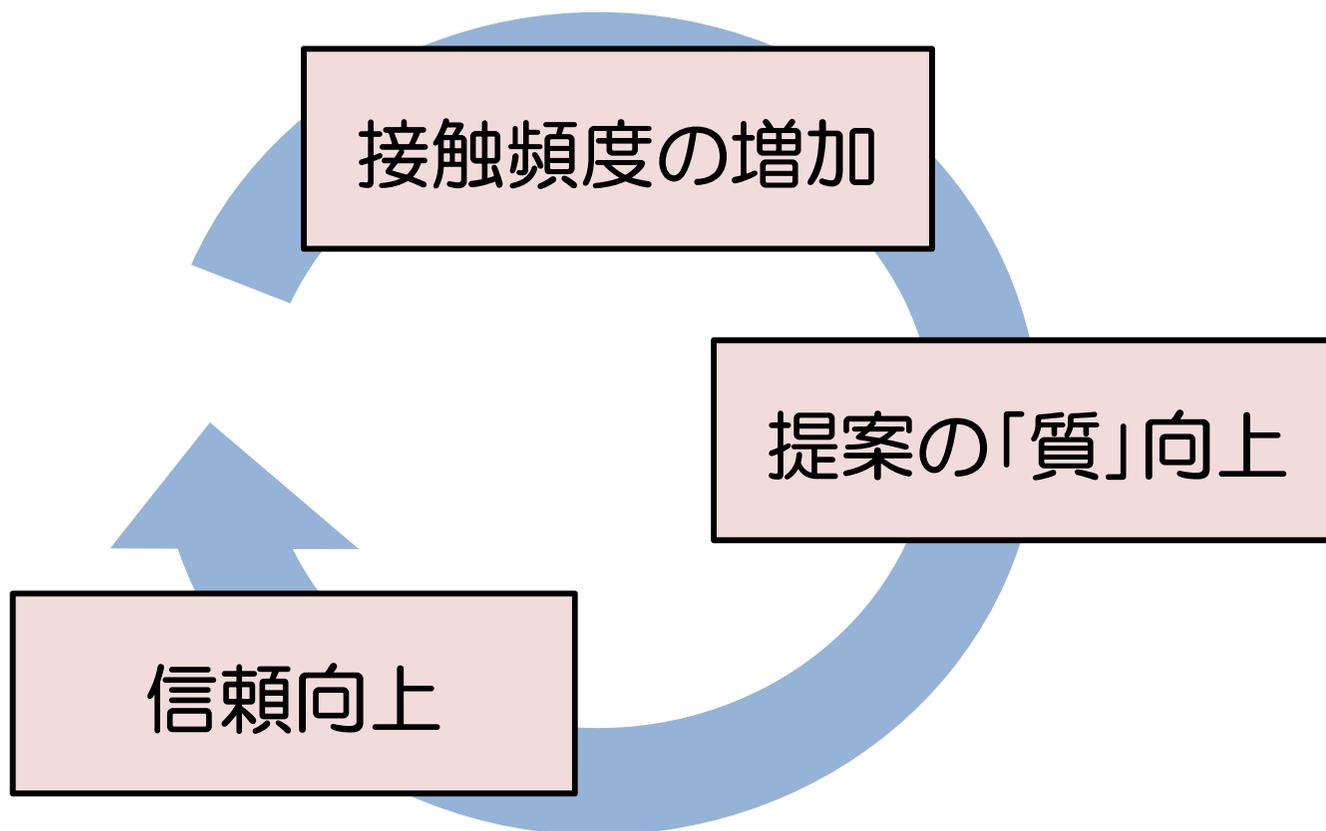


強固な関係構築が重要

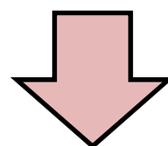


お客さま目線

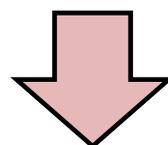
すべてのお客さまにおいて好サイクルを実現



顧客プロファイリング



証券ビジネスは「データ産業化」



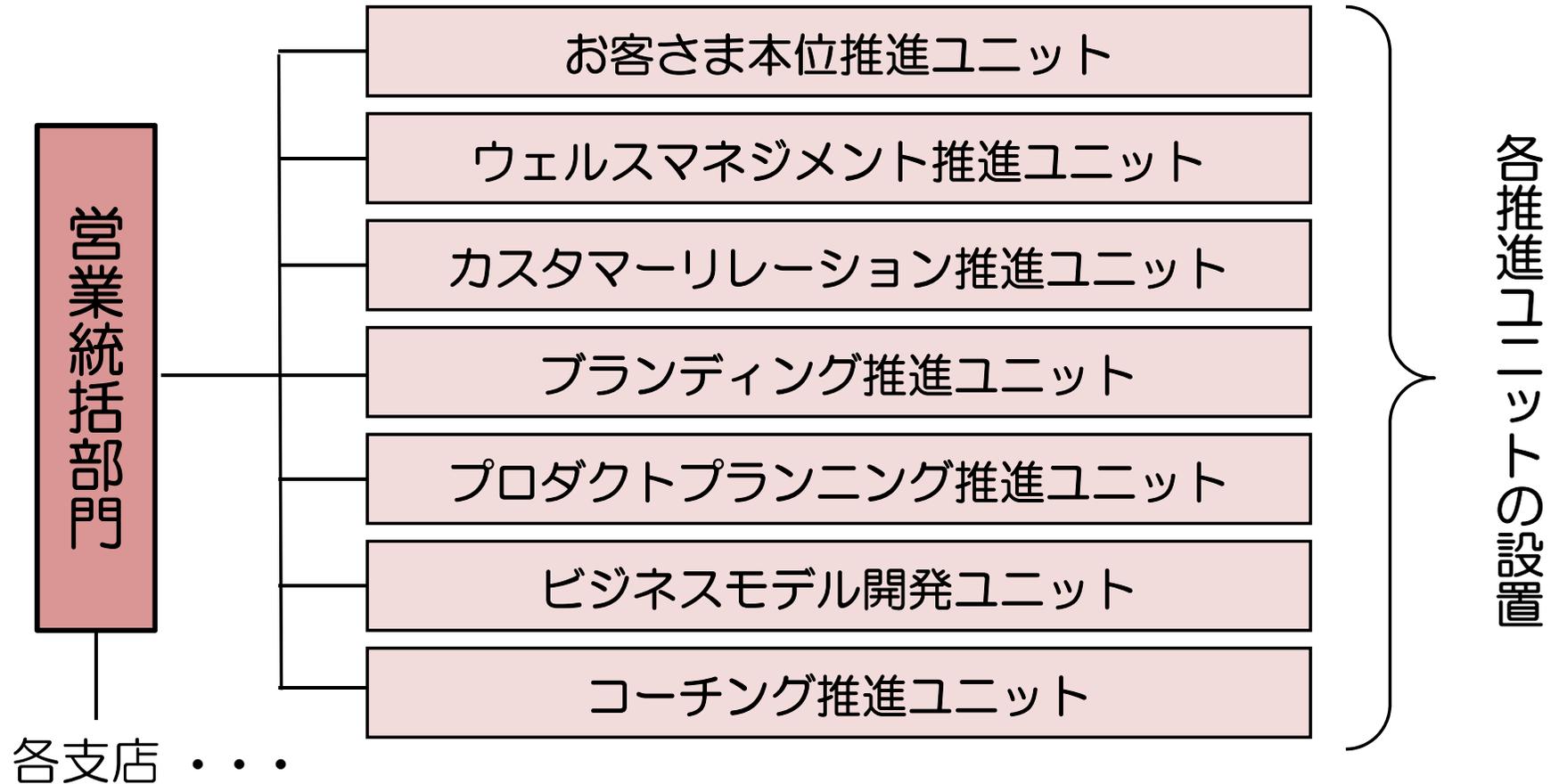
営業社員一人ひとりに
次世代のAIアシスタント

基本方針

- ✓ お客様本位のサービス提供（営業改革）
- ✓ シェアードバリュー創出（プラットフォーム化）
- ✓ デジタライゼーションへの取り組み

挑戦

組織化、具体化へ

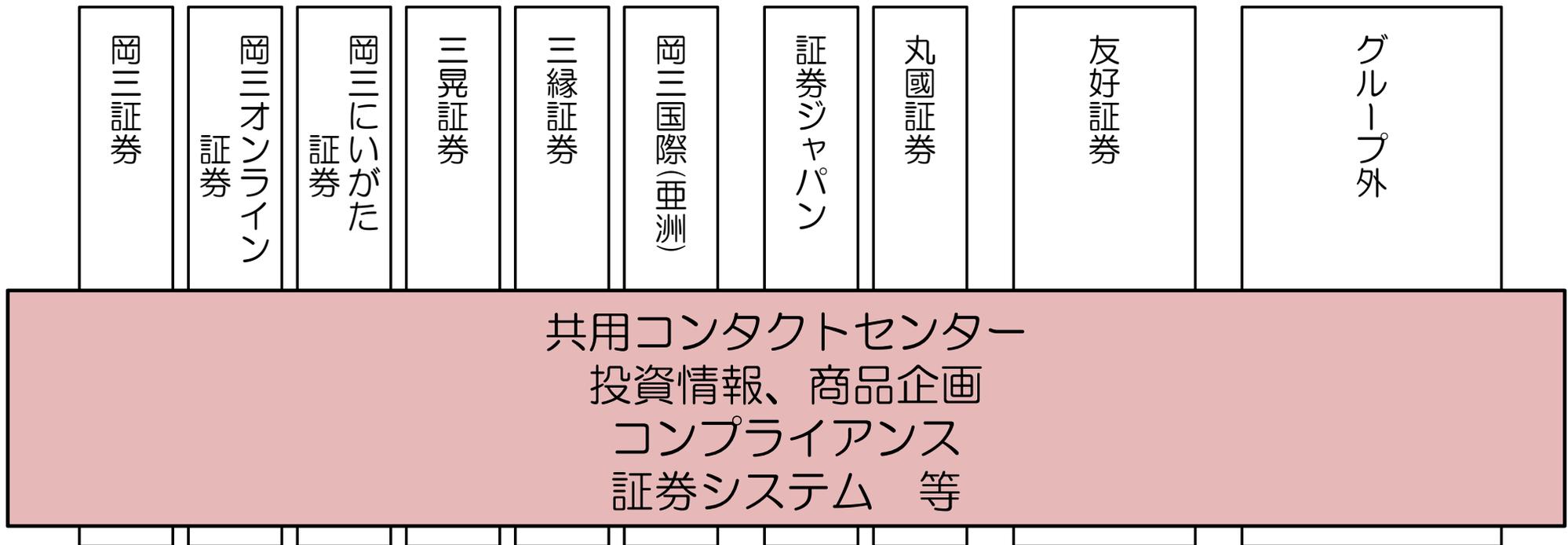


組織化、具体化へ

- ✓ 岡三とうきょうカンパニーの設置
- ✓ 業務改革部門の設置
- ✓ CDO（デジタル）の設置

シェアードバリューの創出

- ✓ 当社グループが有するリソースを共用化できるプラットフォームを構築し、コスト負担を軽減するとともに、グループ外に提供することでプロフィット化を実現。



定量目標（ROE・口座数・預り資産）

<目標値>

	2023/3	(参考) 2020/3
ROE	10%	2.4%
口座数	100万口座	80.6万口座
預り資産	10兆円	4.7兆円

ROE達成のイメージ

- ✓ ROE10%に必要な営業収益は約900億円（20/3期比+38%）と試算。
- ✓ 口座数、預り資産を拡大し、ROE10%を実現する。

<ROE10%のイメージ>

		1口座当たり 預り資産	預り資産 回転率	手数料率				
営業収益	=	口座数	×	$\frac{\text{預り資産}}{\text{口座数}}$	×	$\frac{\text{売買代金}}{\text{預り資産}}$	×	$\frac{\text{営業収益}}{\text{売買代金}}$
↓		↓		↓		↓		↓
1.38倍		1.25倍 (80万口座 →100万口座)		1.66倍 (600万円 →1,000万円)		0.82倍		0.82倍

1

2020年3月期の概況

2

中期経営計画

3

今期の経営のポイント

見通し

相場は一旦は底打ちの様相だが、かなりの長期化も覚悟

「Afterコロナ」より
「Withコロナ」

コロナ対応

<方針>

お客さまと社員を守る

そのために…

コロナ対応

<既実施策>

- ✓ 全店舗閉鎖
- ✓ 在宅勤務
- ✓ ZOOM
- ✓ LINEWORKS
- ✓ 050番号
- ✓ リモートワーク
- ✓ 情報無料公開
- ✓ 社員ケア充実

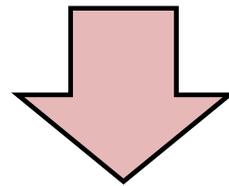
コロナ対応

<予定>

- ✓ イントラのクラウド化
- ✓ スマホ・タブレット配布

各施策を前倒しで推進

- ✓ 付加価値提供力を高める体制構築
- ✓ 社内インフラの整備
- ✓ スピード感と意識改革



コロナ対策で中計施策を前倒しで実施

MEMO

問合せ先：株式会社岡三証券グループ
広報IR部

住 所：〒103-0022
東京都中央区日本橋室町2-2-1

T E L：03-3275-8248（広報直通）

U R L：<http://www.okasan.jp>